



【発行所】
中友会
 港区西新橋1-22-13
 全日本中学校長会館202号室
 東京都中学校長会事務局内
 TEL 03-3504-8705
 FAX 03-3504-8706

会則第2条
 ●親睦
 ●互助
 ●生涯学習

<http://chuyu-kai.org/>



中友会の強固な結束力・組織力

中友会会長 宇津木 順一

春爛漫の候、中友会の皆さまにはご壮健で躍動感あふれる季節を迎えられたと存じます。

今年の冬は厳しい寒さでしたが、その中で、冬季オリンピックでの日本の若者の活躍には目を見張るものがありました。競技後の選手たちの言葉のさわやかさとともに、競技後の選手たちの言葉のさわやかさにも驚きました。「おたがいを高め合い、尊重し合うのがスポーツ」「オリンピックでのメダルは嬉しいが、ここに来るまでが宝です」などという言葉には、目標に向かって真摯に努力してきた若者の自信に満ちた姿が浮かび上がり、頼もしく思いました。

さて、昨年は中学校発足七十周年、そして、中友会結成五十周年という大きな節目の年でした。

中学校教育が、七十年間にわたって基本的な制度、仕組みが変わらずに継続して日本の教育を支えてきたのは驚異的であり、先達の皆さまが、その時々様々な課題に向かい合いながら一つ一つ真摯に取り組んで解決を図り、中学校教育の充実、発展に尽くしてきた努力によるものと思います。

中友会もまた、五十年にわたって結成当時の事

業活動の構想を大切に守り、活動を推進してきました。会員の皆さまの中学校教育を担ってきたという自負とともに、苦勞を分かち合ってきた強い仲間意識による強固な結束によるものと考えます。

そして、昨年十二月二日には、中友会結成五十周年記念事業として祝う会を開催することが出来ました。併せて五十周年記念会報を発行することが出来ました。簡素であっても中身の濃い内容にしたいということで、力を合わせてきましたが、多くの会員の皆さまにご参加いただき、祝う会を盛り上げていただきました。心に残る記念事業になったものと考えます。献身的にご尽力いただいた参与の皆さま、幹事、役員、皆々をはじめ、温かい応援をいただいた会員の皆さまに改めて感謝申し上げます。

本年、平成三十年、西暦二〇一八年は、平成から新しい元号へ向けての年であり、二年後に迫った東京オリンピック・パラリンピックへ向けて急ピッチで準備が進む年でもあります。また、少子高齢化社会とともに、人工知能の開発実用化も進

み、社会の有り様が大きく動くこうとする年でもあるかと思えます。

さらに中友会においては、何と言っても合祀慰霊祭の年であります。幹事の皆さまが前回の実施状況を丁寧に調査研究しながら綿密に実施計画を立て、準備を進めています。一層共通理解を図りながら、遺漏のないように当日を迎えたいと思います。ご理解いただきご支援をお願いいたします。

これからの中友会ですが、現会員数は、一、九〇二名(平成三十年二月)に達し大きな組織に発展しています。しかも都立公立中学校退職校長のほぼ全員が会員になっています。今日、この強固な結束力、組織力は他に及ぶところのないものであります。本会の誇りであります。このことを改めて深く認識し、会員の皆さまと共に中友会を大切にしていかなければならないと考えます。

一方、事業活動を中心になって担い推進している幹事の委嘱が大変難しくなっています。毎年、退職された方から任に当たっていただいています。が、再任用等、定年後の就業が一般化する中で、委嘱が大変難しくなり、組織運営体制の整備が喫緊の課題となっています。

会の事業活動については、中友会の結成時から事業である合祀慰霊祭、定期的な名簿の改訂、研修事業などの中友会の基盤となる事業を大切にするとともに、中友会会員の充実した人生に資する事業活動の推進が、今後特に重要であります。

今日、人生一〇〇年時代とも言われています。中学校教育の先達として、教育と人生の理想を追求する中友会の仲間として、縦の絆、横の絆を一層大切に、会員相互の交流が活発に図られ、広がって、存在感ある中友会としてますます発展するように切に望んでいます。